

医療関係者は、医療費の適正化にまじめに取り組んでいる。平成20年（2008年）に厚労省土佐和男氏が述べたような、「終末期医療費が膨大にかかっている（＝全くエビデンスがないことが、その前後の研究で明らかになっている）」ことはなく、無駄な治療を行わず、患者さんや家族の願いを無視してまで在院日数を極限まで減らし、医師個人の意思に反してまで後発品を処方し、1点10円を無駄にしないように取り組んでいる。平成22年（2010年）の診療

報酬改定時に、診療側の安達秀樹委員が、診療所の再診料を2点下げること到最后まで抵抗したことは、医療側が1点1点をいかに大事にしているかを端的に表すものであった。国民や医療・介護・福祉関係者に「効率化を！」と言っているそばから、社会保障関連分野の産業化を推進し、適正化した以上の社会保障費を民間企業に利益誘導している姿は、あまりにも空々しい。

平成28年春の叙勲受章者（北海道医師会）

先般、平成28年春の叙勲・褒章受章者が発表され、当会会員で以下の方々が叙勲の荣誉に浴されました。ここに受章者の方々のご功績をたたえ、謹んでご芳名を掲載させていただきます（敬称略）。受章者各位には、心からお祝いを申し上げます。

◇瑞宝中綬章

大河原 章 北海道大学名誉教授
教育研究功労

◇瑞宝中綬章

川端 弓雄 元 自衛隊中央病院副院長
防衛功労

◇瑞宝双光章

清水 昇 現 北海道警察嘱託医
警察協力功労

お知らせ 「平成28年熊本地震」の各種通知について

◇情報広報部◇

「平成28年熊本地震」にかかわる各種通知につきましては、当会ホームページ「新着情報」にて随時掲載しております。また、日本医師会ホームページ内にも「平成28年熊本地震に関する情報」と題したページが公開されております。下記URLをお知らせするとともに、当会ホームページ「新着情報」からもリンクしておりますので、ご参考ください。

記

- 北海道医師会ホームページ「新着情報」
<http://www.hokkaido.med.or.jp/topics/>
- 日本医師会ホームページ「平成28年熊本地震に関する情報」
http://www.med.or.jp/people/info/people_info/004364.html